

CGで古都の再現を

フォーラム「シルクロードから藤原・平城京へ」

帝塚山大で意見交換



シルクロードがもたらした文明や文化などについて研究成果を披露する専門家＝15日、奈良市学園南3

県内大学の教員、学生らが中心のNPO法
人奈良ユニバーサロン
(理事長・西川彰奈良
産業大理事長)の「超
時空フォーラムーシル
クロードから藤原・平
城京へ」が十五日、奈

良市学園南三丁目帝塚山大学園前キャンパスであり、約二百人の歴史ファンらが最新技術による古都の再現映像とシルクロードや遺跡などに関する専門家の対話を楽しんだ。

大学の垣根を越えて奈良から日本の学術、文化の発展に寄与することを目的に昨年七月に設立された同NPOが、社会貢献の一環として開いた。

奈良産業大と奈良先端科学技術大学院大の研究グループが、コンピュータターゲットグラフィックス(CG)で藤原京、平城京を再現する取り組みを紹介。CG画面

を使った歴史的事象の検証、高い臨場感での古都体感の可能性についても解説した。

このあと、白鳳女子短大の児島建次郎教授をコーディネーターに、樋口隆康京大名誉教授、大阪教育大の山田勝久教授、奈良文化女子短大の来村多加史教授が意見を交換。シルクロードや国際都市として栄えた楼蘭、中国皇帝陵、正倉院宝物といった東西交流のなめだつた文明の道がもたらした文化や遺物、思想などについて、記録映像を交えつつ興味深い話が披露された。